

## 新型コロナナ影響を 北ア山小屋が説明

「山の日」議連

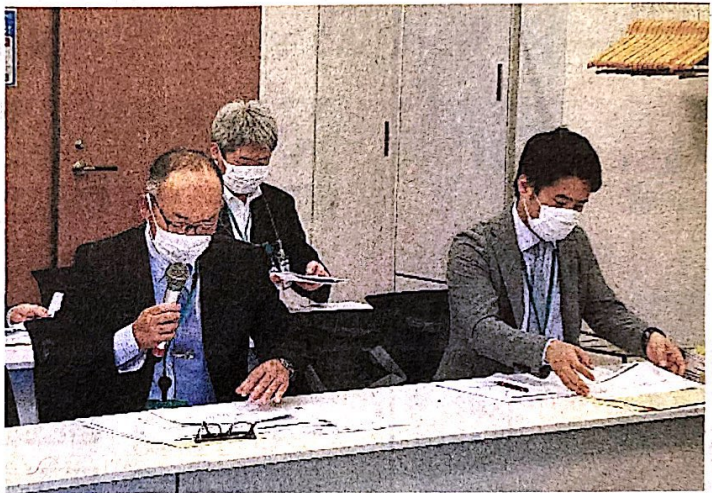
超党派の「山の日」議員連盟は18日、東京都内で総会を開いた。新型コロナナウイルスの感染拡大による山小屋事業者への影響を探るため、北アルプス山小屋友交会の山田直<sup>ただし</sup>会長（松本市）らを招き、現状を聞き取った。

山田会長は、登山道整備や高山植物の保護、遭難救助などの活動費用の多くを事業収益から充てていると説明。「3密」を避けるため宿泊定員を削らざるを得ず「自助努力ではどうにもできない課題を抱えている」と支援を要請した。これに対し、林野庁や環境省の担当者は家賃支援などの制度を紹介した。

議連会長の衛藤征士郎衆院

山小屋の現状を報告し、支援を求める北アルプス山小屋友交会の山田会長（左）

18日、東京・永田町



議員は「コロナ禍でも逆転の発想で新しい道を開く覚悟で頑張っていく」とあいさつ。

県関係議員は自民党の宮下一郎氏（衆院5区）と務台俊介氏（同比例北陸信越）、国民民主党の篠原孝氏（同1区）と羽田雄一郎氏（参院県区）が出席した。